

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	音楽科教育法				
担当者氏名	丸井 理恵				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

小学校音楽科の授業で教員は、音楽活動を通して育成できる力を理解した上で、子ども達の楽しい音楽活動を援助し、指導しなければならない。子どもの表現力を引き出すためには、教員自身により高い音楽的教養と表現力が求められる。この授業では、小学校音楽科の指導に必要な知識と技能を修得し、共通歌唱教材の伴奏、リコーダー合奏、器楽合奏を経験する中で指導方法や評価方法を学習し、実践的な指導技術を身につける。

《授業の到達目標》

小学校音楽科の指導に必要な知識、技能を修得すると共に、児童の前で自信を持って模範演奏ができるようにする。  
また教材に対する理解を深めた上で学習指導案を作成できるようにする。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度及び到達度）・・・30%  
筆記テスト（音楽理論・学習指導要領より）・・・30%  
指導案と模擬授業・・・20%  
グループ合奏、全員による器楽合奏の発表・・・20%

《テキスト》

小学校学習指導要領「音楽編」文部科学省  
教員養成課程「小学校音楽科教育法」教育芸術社

《参考図書》

供田 武嘉津「学生の音楽通論」  
その他必要資料、楽譜、楽器等は、授業内で随時配布、または指示、紹介する。

《授業時間外学習》

音楽理論の学習は、あらかじめ予習しておく事。  
共通歌唱教材、リコーダー、合奏等、授業で学習した実技内容は次回授業までに演奏ができるように自己練習しておく事。  
各自、配布プリント用ファイル及び五線ノートを用意する事。  
ソプラノリコーダを用意すること。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は高等学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	学習指導要領における音楽科の目標と指導内容について アンケート、グループ分け
2	伴奏法	コードを使った伴奏について
3	指揮法	指揮の基本と実践
4	1・2年生の歌唱指導	1・2年生の共通歌唱教材の研究と指導内容及び演習
5	3・4年生の歌唱指導	3・4年生の共通歌唱教材の研究と指導内容及び演習
6	5・6年生の歌唱指導	5・6年生の共通歌唱教材の研究と指導内容及び演習
7	3・4年生の器楽指導	3・4年生のリコーダー教材の研究と指導内容及び演習
8	5・6年生の器楽指導	5・6年生のリコーダー教材の研究と指導内容及び演習
9	ICTを活用した教材作り	PCを活用した教材研究と音楽づくりの演習
10	学習指導計画	学習指導案の作成と評価
11	模擬授業①	歌唱教材による模擬授業実践
12	模擬授業②	リコーダー教材による模擬授業実践鑑賞教材による模擬授業実践
13	模擬授業③	鑑賞教材、音楽づくりの模擬授業実践
14	リコーダー合奏及び器楽合奏の実践	リコーダー合奏、器楽合奏の選曲及び楽器選択とパート譜作成
15	リコーダー合奏及び器楽合奏のリハーサル	リコーダー合奏及び器楽合奏のパート練習及び全体練習とリハーサル

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	音楽科教育法				
担当者氏名	丸井 理恵				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

小学校音楽科の授業で教員は、音楽活動を通して育成できる力を理解した上で、子ども達の楽しい音楽活動を援助し、指導しなければならない。子どもの表現力を引き出すためには、教員自身により高い音楽的教養と表現力が求められる。この授業では、小学校音楽科の指導に必要な知識と技能を修得し、共通歌唱教材の伴奏、リコーダー合奏、器楽合奏を経験する中で指導方法や評価方法を学習し、実践的な指導技術を身につける。

《授業の到達目標》

小学校音楽科の指導に必要な知識、技能を修得すると共に、児童の前で自信を持って模範演奏ができるようにする。  
また教材に対する理解を深めた上で学習指導案を作成できるようにする。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度及び到達度）・・・30%  
筆記テスト（音楽理論・学習指導要領より）・・・30%  
指導案と模擬授業・・・20%  
グループ合奏、全員による器楽合奏の発表・・・20%

《テキスト》

小学校学習指導要領「音楽編」文部科学省  
教員養成課程「小学校音楽科教育法」教育芸術社

《参考図書》

供田 武嘉津「学生の音楽通論」  
その他必要資料、楽譜、楽器等は、授業内で随時配布、または指示、紹介する。

《授業時間外学習》

音楽理論の学習は、あらかじめ予習しておく事。  
共通歌唱教材、リコーダー、合奏等、授業で学習した実技内容は次回授業までに演奏ができるように自己練習しておく事。  
各自、配布プリント用ファイル及び五線ノートを用意する事。  
ソプラノリコーダを用意すること。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は高等学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	学習指導要領における音楽科の目標と指導内容について アンケート、グループ分け
2	伴奏法	コードを使った伴奏について
3	指揮法	指揮の基本と実践
4	1・2年生の歌唱指導	1・2年生の共通歌唱教材の研究と指導内容及び演習
5	3・4年生の歌唱指導	3・4年生の共通歌唱教材の研究と指導内容及び演習
6	5・6年生の歌唱指導	5・6年生の共通歌唱教材の研究と指導内容及び演習
7	3・4年生の器楽指導	3・4年生のリコーダー教材の研究と指導内容及び演習
8	5・6年生の器楽指導	5・6年生のリコーダー教材の研究と指導内容及び演習
9	ICTを活用した教材作り	PCを活用した教材研究と音楽づくりの演習
10	学習指導計画	学習指導案の作成と評価
11	模擬授業①	歌唱教材による模擬授業実践
12	模擬授業②	リコーダー教材による模擬授業実践鑑賞教材による模擬授業実践
13	模擬授業③	鑑賞教材、音楽づくりの模擬授業実践
14	リコーダー合奏及び器楽合奏の実践	リコーダー合奏、器楽合奏の選曲及び楽器選択とパート譜作成
15	リコーダー合奏及び器楽合奏のリハーサル	リコーダー合奏及び器楽合奏のパート練習及び全体練習とリハーサル